



記憶と海の物語

静かな潮の地図師

長編小説

高橋 滢

北窓書房

静かな潮の地図師

静かな潮の地図師

長編小説

高橋 滢

北窓書房
横浜

Copyright 2026 高橋 滯

無断転載を禁じます。本書は架空の見本です。

初版

発行 北窓書房, 横浜

2026

ISBN 978-1-7380000-4-2 (sample)

沈黙を天気のように読むことを覚えた人へ。

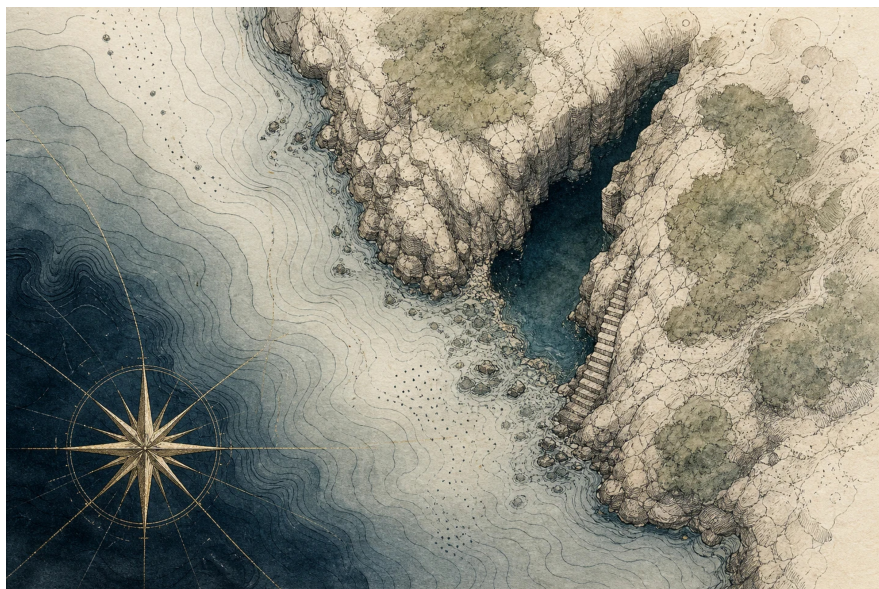
地図は岩の場所を教えるが、どの不在が心を
砕くかまでは教えない。

目次

01 第一章 存在しなかった港

謝辞

02 注記



口絵

存在しなかった港

夜明け、西の崖があるはずの場所に青い線が現れた。葵は三度測ったが、紙は見知らぬ入り江を示し続けた。

...

地図は岩の場所を教えるが、どの不在が心を砕くか
までは教えない。^[1]

謝辞

この架空の見本は、章扉、場面転換、引用、前付け、裏表紙の組版を示します。

注記

本見本の氏名、場所、出版社、書評、識別番号はすべて架空です。

...

1. 北窓書房; 横浜; 2026; 初版. ↩

若い地図師は、最も潮が引いた時だけ現れる港を見つける。そこに残された母の手紙は、島で最も信頼された地図が最も古い嘘を守ってきたことを告げていた。

透明で精密、そして静かに心へ残る。

新しい物語

著者について

高橋滯は、記憶と土地、日々の仕事に隠れた物語を書く架空の作家です。

example.invalid

北窓書房

ISBN

978-1-7380000-4-2

(sample)